

2021年6月15日
JR東日本スタートアップ株式会社
株式会社フォトシンス

**JR東日本スタートアップとフォトシンス、
資本業務提携により、Suicaのさらなる活用方法を創出**
～Suica IDとAkerun IDのID連携／データ連携をさらに加速、
より便利でスマートな社会を～

JR東日本スタートアップ株式会社（東京都港区、代表取締役社長 柴田 裕、以下JR東日本スタートアップ）はAkerunブランドのクラウド型IoTサービスを手がける株式会社Photosynth（東京都港区、代表取締役社長 河瀬航大、以下フォトシンス）と、資本業務提携を締結しました。この資本業務提携により、従来から取り組むSuicaとAkerunの基盤連携をより一層加速し、Suicaのさらなる活用方法の創出を目指します。



JR東日本スタートアップとフォトシンスのこれまでの協業

JR東日本スタートアップとフォトシンスは、JR東日本スタートアッププログラム2020の採択企業として、2021年2月から開始したJR東日本本社ビルでのSuicaを活用したスマートビル入退館システムの実証実験など、これまでも協業を推進してきました。

実証実験では、これまでに数多くのJR東日本本社社員がSuicaを活用してビルへの入退館を行い、その利便性が高く評価されており、Suica IDとAkerun IDを連携させた最先端のアクセス体験を提供しています。

Suica IDとAkerun IDの基盤連携による今後の展開

今回の資本業務提携は、これまでの両社の取り組みを次のステージへと進めるもので、今後も累計8,500万枚を超える発行枚数があるSuicaと、アクセス認証基盤「Akerun Access Intelligence」を基盤とした累計5,000社以上で利用されているAkerunを組み合わせることで、個人認証を通じた空間へのアクセスだけでなく、決済や交通機関の利用など、さまざまなサービス利用シーンへとその連携を広げていくことを目指します。

【JR東日本スタートアッププログラム】とは

ベンチャー企業や様々なアイデアを有する方々から、駅や鉄道、グループ事業の経営資源や情報資産を活用したビジネス・サービスの提案を募り、ブラッシュアップを経て実現していくプログラムです。2017年度に初めて開催し、今回までに合計81件の提案を採択。鉄道事業やIT事業など幅広い分野の実証実験を行い、一部の取り組みは実用化にいたりしました。なお、内閣府主催の2018年度第1回オープンイノベーション大賞において、経済産業大臣賞を受賞しました。

■各社概要

JR東日本スタートアップ

所在地：東京都港区高輪2-21-42 Tokyo Yard Building

代表者：代表取締役社長 柴田 裕

設立：2018年2月

事業内容：事業シーズや先端技術の調査・発掘、ベンチャー企業への出資及びJR東日本グループとの協業推進

URL：<https://jrestartup.co.jp/>

Photosynth (フォトシンス)

所在地：東京都港区芝5-29-11 G-BASE田町15階

代表者：代表取締役社長 河瀬 航大

設立：2014年9月1日

事業内容：「Akerun入退室管理システム」をはじめとしたAkerunブランドのクラウド型IoTサービスを提供。

URL：<https://photosynth.co.jp/>